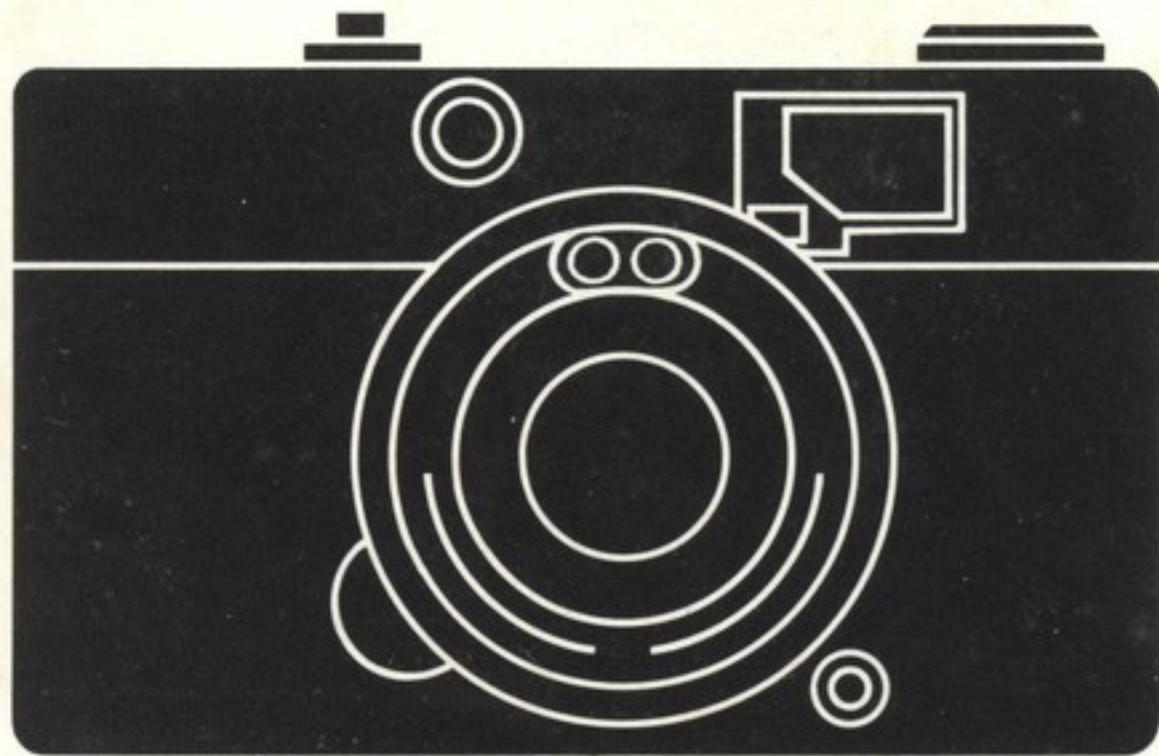


# MINOLTA HI-MATIC C



使用説明書



お買上げありがとうございます  
ミノルタハイマチックCは35mmフルサイズの高性能超コンパクトカメラです  
このカメラは別名〈リトルシャイアント〉小さな大物と云う愛称で呼ばれ、体は小さくても高性能なため従来のカメラに負けない機能をそなえています。  
その内容は、速度優先のEE機構に、フラッシュマチック機構の採用、レンズ鏡胴の沈胴化など優れた特長とアイデアがいっぱいです  
お使いになる前にこの説明書をよくお読みになって、カメラの性能を十分ご活用ください



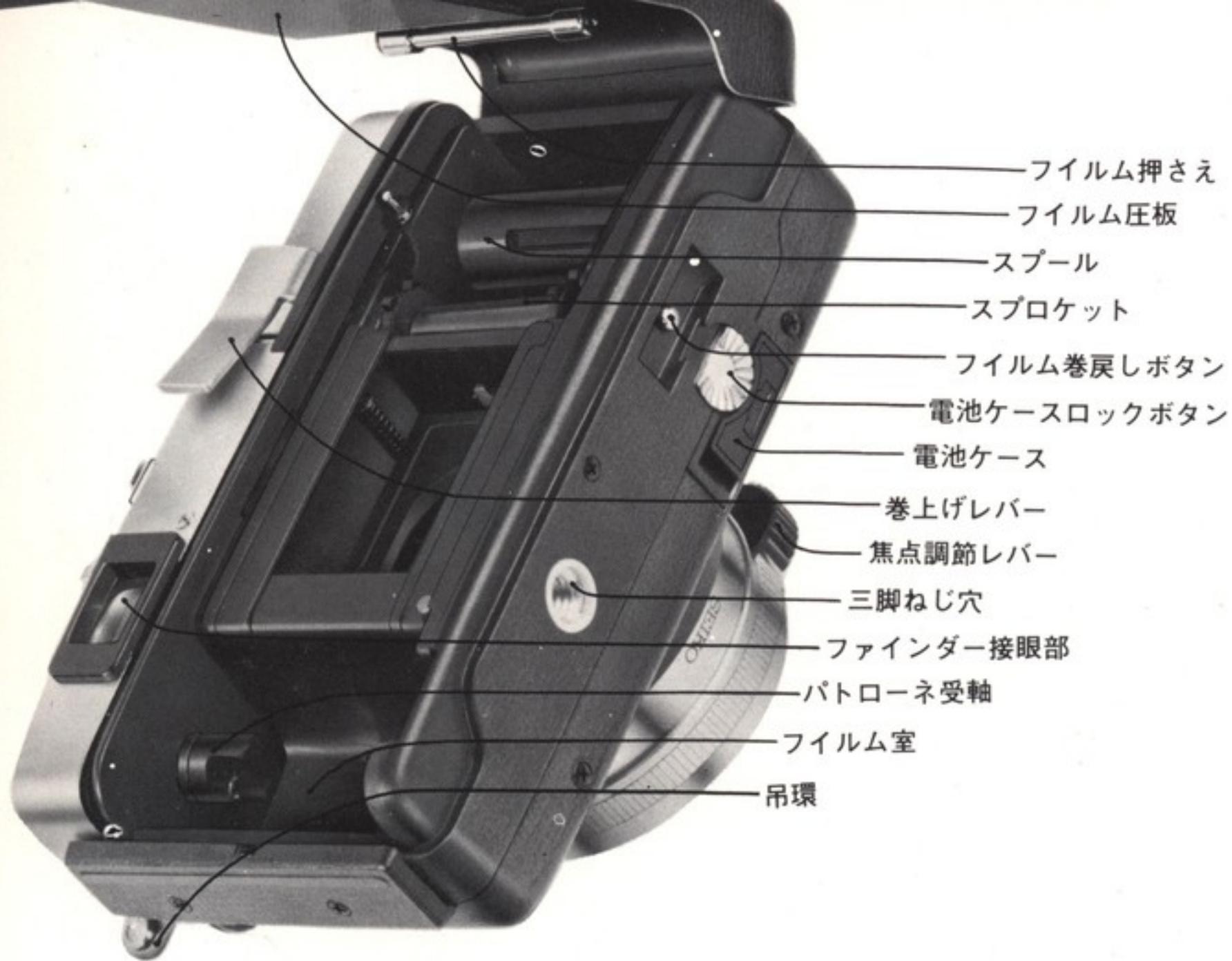


目次	各部の名称	2
	主な性能	4
	撮影前に水銀電池を入れてください	5
	沈胴式レンズについて	6
	こんなに簡単に写せます〈撮影の手順〉	8
	フィルムの入れ方	10
	撮影の方法	13
	(1)フィルム感度を合わせます	14
	(2)天気マークを合わせます	15
	(3)EE警告について	16
	(4)カメラの構え方	17
	(5)ファインダーの見方	18
	(6)ピントの合わせ方	20
	フラッシュ撮影	24
	フィルムの取出し	26
	カメラの保存と手入れ	27
	アクセサリーのご紹介	

# 各部の名称

- フィルムカウンター窓
- 距離指標
- シャッターリング
- 距離目盛
- フィルム感度セットレバー (ASA)
- GN目盛
- 露出計受光窓
- レンズ (f2.7/40mm)
- フィルム感度セットレバー (DIN)
- 速度・GN指標
- ゾーンフォーカスマーク
- シンクローターミナル
- ゾーンフォーカスマーク指標
- レンズセットボタン
- ファインダー
- シャッターボタン
- ノンコードガンクリップ
- 裏蓋開閉兼フィルム巻戻しノブ





フィルム押さえ

フィルム圧板

スプール

スプロケット

フィルム巻戻しボタン

電池ケースロックボタン

電池ケース

巻上げレバー

焦点調節レバー

三脚ねじ穴

ファインダー接眼部

パトローネ受軸

フィルム室

吊環

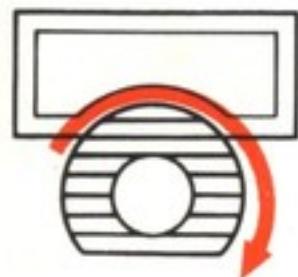
# 主な性能

型 式	J 135 フィルム使用の速度優先式 E E カメラ
画 面 サ イ ズ	24×36mm
レ ン ズ	ロツコール F2.7 40mm 3群 3枚
シ ャ ッ タ ー	セイコー $\frac{1}{30}$ , $\frac{1}{250}$
シ ン ク ロ 接 点	X 接点
フ ラ ッ シ ュ 撮 影	フラッシュマチック機構付
露 出 計	CdSを用いた速度優先 E E 方式 (水銀電池 JIS 記号 H-C 型 1 個使用)
連 動 範 囲	EV7.9 (F2.7, $\frac{1}{30}$ ) ~ 17 (F22, $\frac{1}{250}$ ) 全 ASA に対して
使用フィルム感度	ASA25~400
ピ ント 合 わ せ	ゾーンフォーカス式
最 短 撮 影 距 離	0.9m (3 ft)
フ ァ イ ン ダ ー	アルバダ式ブライツフレーム (パララックス補正マーク付)
フ ィ ル ム 巻 上 げ	レバー式 (一操作)
カ ウ ン タ ー	順算式自動復元
そ の 他	フィルム巻きもどしは押しボタン式で、ボタン自動復元 ノンコードガンクリップ付
ア ク セ サ リ ー	フード 49mm (ねじこみ式) フィルター ねじ径 49mm
4 大 き さ ・ 重 量	122×71×47mm 420g

# 撮影前に水銀電池を入れて下さい

ハイマチック-CはEE機構のカメラで、撮影前に必ず水銀電池を入れるようお願いします

- 1** 電池ケースロックボタンを回し、切りこみを電池ケースに沿わせて、爪で電池ケースを取出します



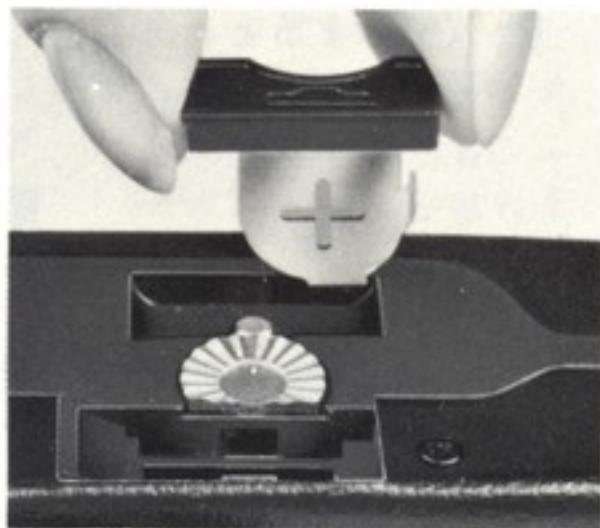
ロックボタン



- 2** 水銀電池を電池ケースの記号の標示（+側を下方）に従ってはめます  
電池ケースをはめ、電池ケースロックボタンをロックします



電池ケース



## 注 意

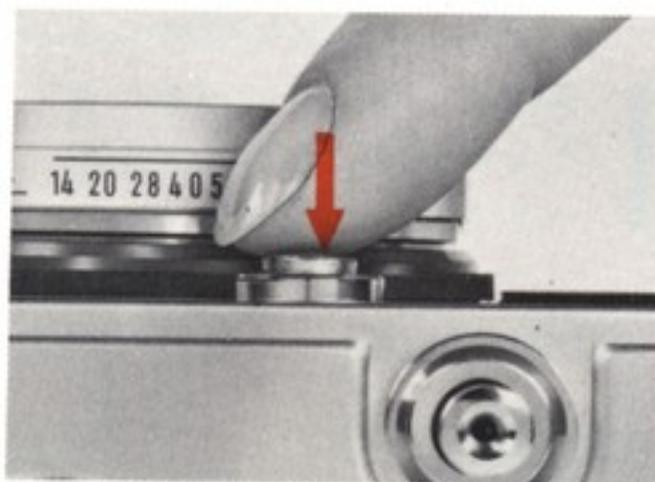
- 水銀電池を入れるとき、電池の(+)と(-)を間違えないようにしてください
- 長時間(1カ月以上)カメラを使用しないときは、水銀電池を取り出し、乾燥した場所にしまっておいてください
- 水銀電池に手をふれるとき、汗や脂がつかないようにしてください
- 水銀電池の寿命は約1年ですが電池が消耗すると、明るいところでも指針がEE警告マークに入るのでわかります。この時は新しい電池と交換してください
- 水銀電池はJIS記号H-C型をご使用ください

## 沈胴式レンズについて

このカメラは超コンパクト化したためレンズ鏡胴部分が沈胴式になっています。そのため撮影のときレンズを所定位置にセットして使用するようになっていきます

- 1 レンズセットボタンを押すとレンズが自動的に出てきて所定位置で止まります  
(格納するときにはレンズセットボタンを押しながらレンズを押しこみます)

レンズセットボタン



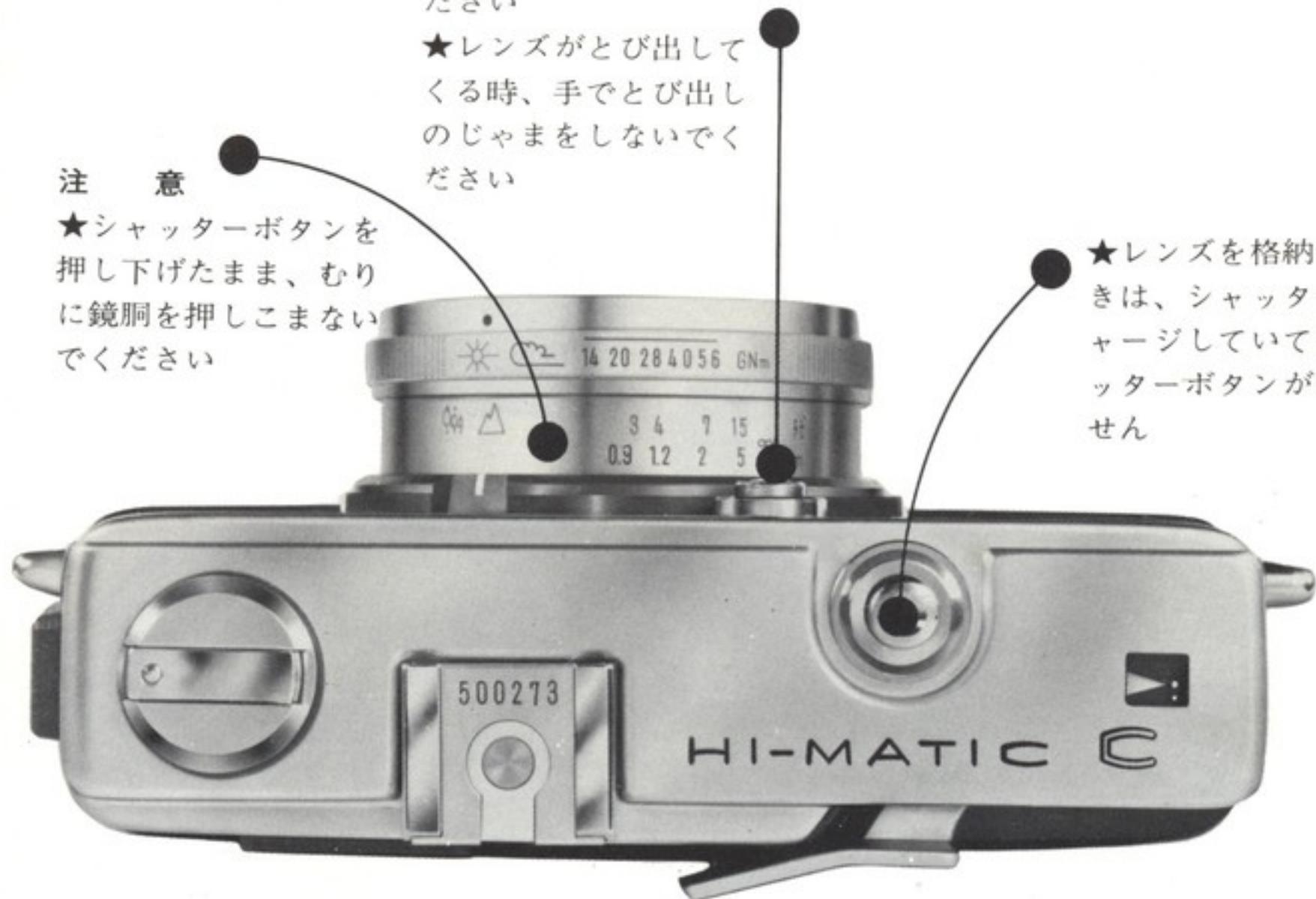
★ケースにしまうときは  
はレンズを格納してく  
ださい

★レンズがとび出して  
くる時、手でとび出し  
のじゃまをしないでく  
ださい

注 意

★シャッターボタンを  
押し下げたまま、むり  
に鏡胴を押しこまない  
でください

★レンズを格納したと  
きは、シャッターがチ  
ャージしていてもシャ  
ッターボタンが落ちま  
せん



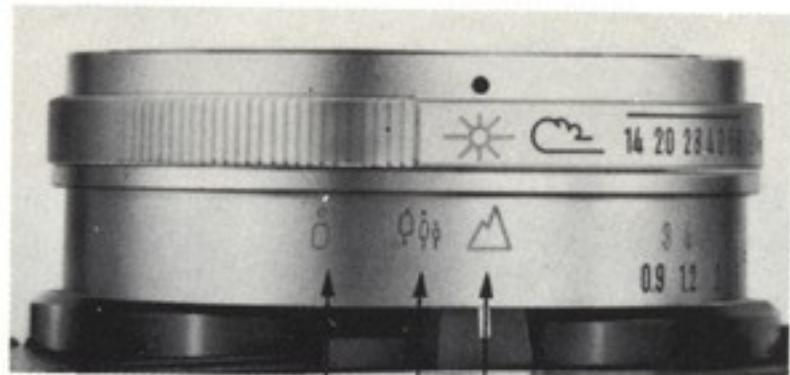
## こんなに簡単に写せます〈撮影の手順〉

- 1** レンズセットボタンを押し、レンズをセットします  
フィルムを入れ、フィルムカウンターに①を出します

- 2** フィルム感度を合わせ、天気マークを合わせます  
(日中戸外では☀ 部屋の中や、明るい窓際では☁ に合わせます)



- 3** ゾーンフォーカスマークでピントを合わせます  
(マークは右より遠景、集合、クローズアップを示します)



クローズアップ(1.2m) 集合(3m) 遠景(∞)

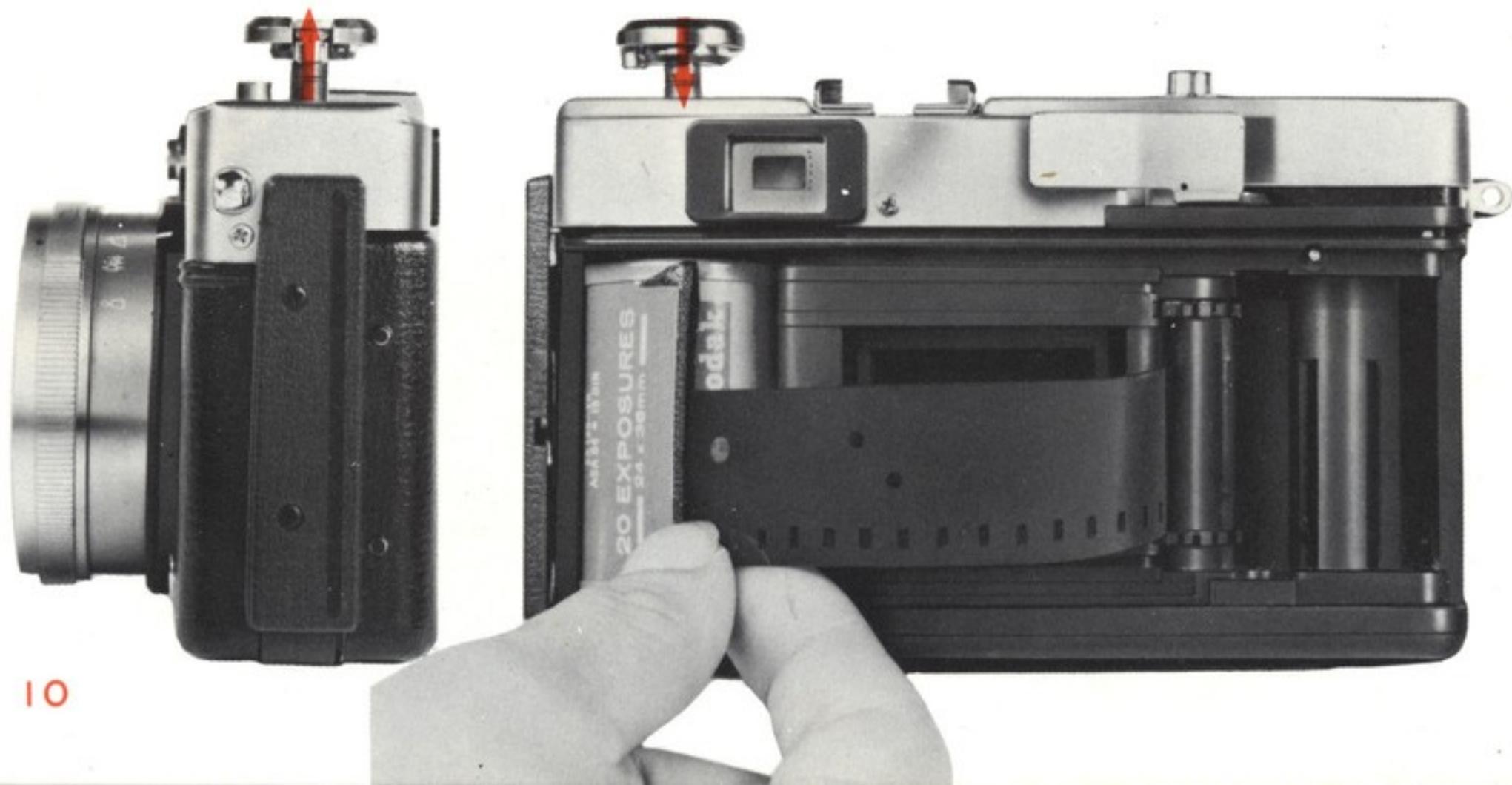
- 4** 構図を決め、シャッターを切ります  
(シャッターボタンを少し押したとき、ファインダーの指針が上部警告マークに止まったときは適正露出になりませんくわしくはP-15をご参照ください)



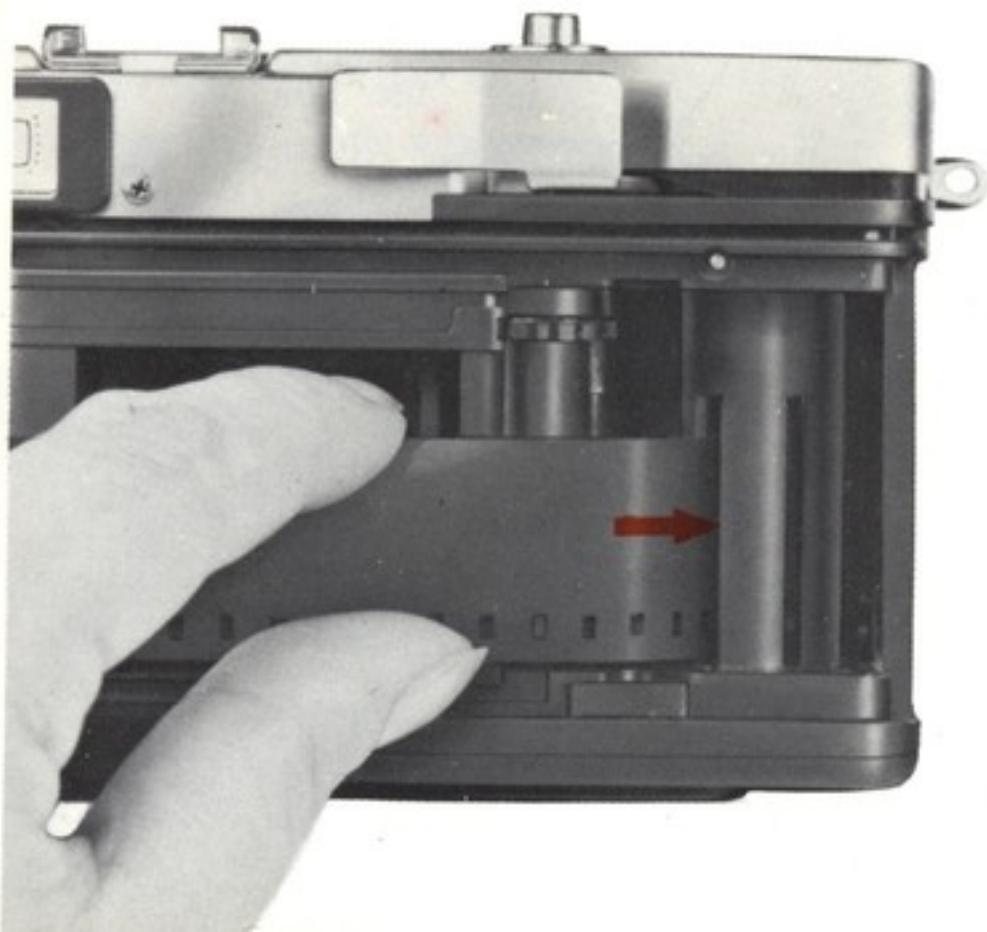
## フィルムに入れ方

**1** まずレンズセットボタンを押します。裏蓋開閉ノブ（フィルム巻戻し兼用）を引出し、更に強く引くと裏蓋が自動的に開きます

**2** 裏蓋開閉ノブを引きながらパトローネをフィルム室に入れ、裏蓋開閉ノブをもとの位置に止まるまで押しこみます



**3** フィルムの先端をフィルム巻取軸のみぞ（4つあり）にフィルムの送り穴を2〜3コマ分中に差しこみ、送り穴をスプール爪に引っかけます



**4** フィルムの送り穴をスプロケットの歯にかませ、スプロケットを軽く押さえながら巻上げレバーで徐々にフィルムを巻上げ、両側の送り穴をスプロケットの歯にかませます



**5** フィルムが送られているのを確認して裏蓋を閉じ、そのあと巻上げレバーがとまるまで回してシャッターボタンを押します。この操作を繰返してフィルムカウンターに①を出します

● フィルムカウンター窓の数字(目盛)はフィルム1駒ずつの動きを示します

● 巻上げレバーは止まるまで確実に回してください。巻上げ途中ですとレバーはもとに戻りません

● フィルムの出し入れは、必ず日陰等でおこない、日光(直射光)が直接入らぬようにしてください

# 撮影の方法

## (1) フィルム感度を合わせます

**1** フィルム感度調節レバーを使用フィルムの感度に合わせます  
フィルム感度目盛は下記のように表示されています

ASA 25・50・100・200・400

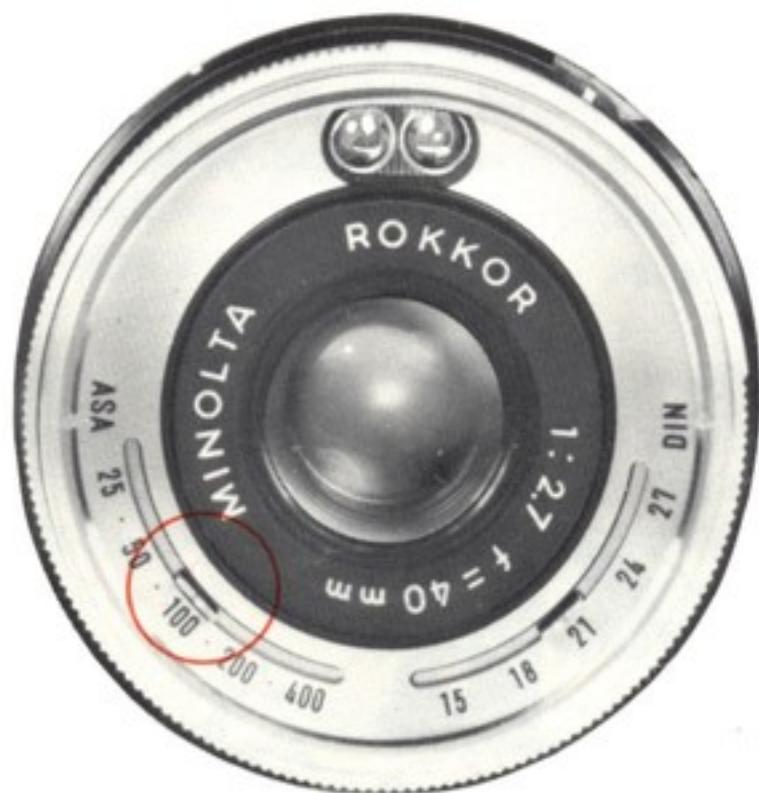
DIN 15 18 21 24 27

各目盛の中間点は次のようになります

ASA 25・50・100・200・400

40 80 160 320

またDIN目盛はDIN表示のフィルムを使用するときに使います



## フィルム感度一覧表

フィルム名	ASA感度	フィルム名	ASA感度
S級フィルム	50	サクラカラーリバーサル	100
SS級フィルム	100	フジカラーN100	100
SSS級フィルム	200	サクラカラーN100	100
フジカラーR100	100	オリカラーネガティブ100	100

その他のフィルムについてはフィルムの箱または説明書をごらんください

## (2) 天気マークを合わせます

**1** シャッターリングを回し、日中戸外では  マークに、明るい部屋の窓際や曇天下の暗いところなどでは  マークに合わせます

- E E 作動範囲は E V 7.9 (F 2.7,  $\frac{1}{30}$ ) ~ E V 17 (F 22,  $\frac{1}{250}$ ) です
- 選んだマークが適正かどうかはファインダーの指針で確かめます (くわしくは P-15 で説明します)

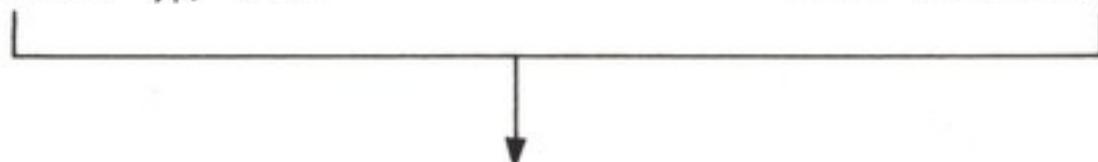
注意  マークにしたときはカメラブレにご注意ください



日中戸外では  ( $\frac{1}{250}$ )

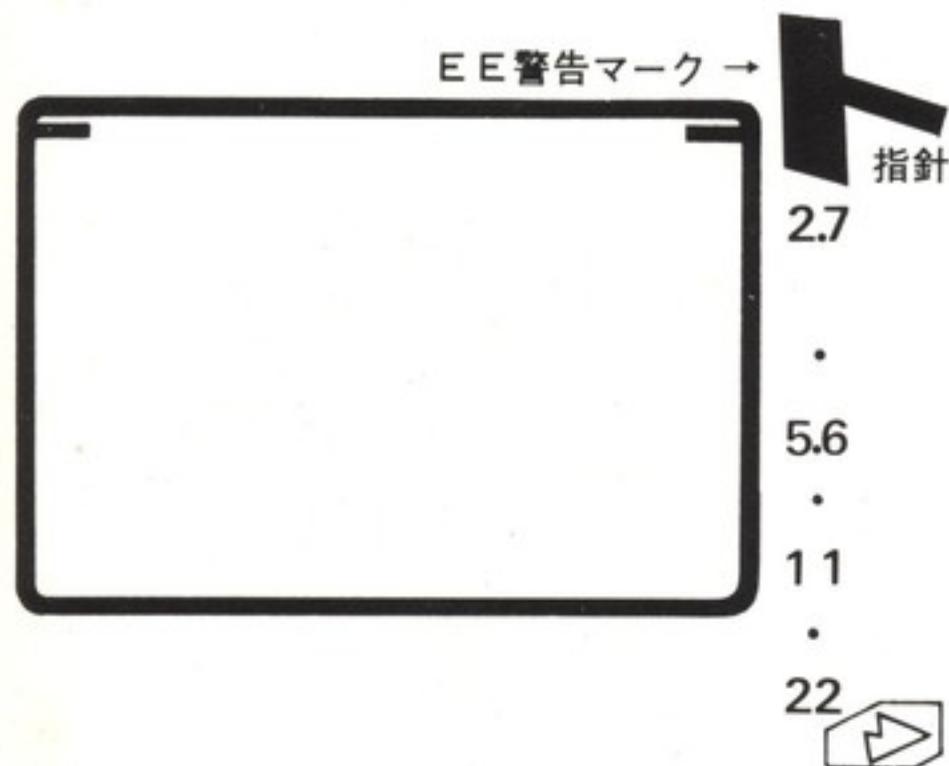


明るい部屋の窓際・日蔭では  ( $\frac{1}{30}$ )



### (3) EE警告について

選んだ天気マークが適正なときは、シャッターボタンを少し押したときファインダー内に指針が振れ、そのときの絞り値を指示します。指針がファインダーのEE警告マークで止まったときは露出が不適正です。



☼ にセットしている時EE警告マークの位置で止まれば ☁ マークに合わせます。それでも警告マークに止まるときはフラッシュなどの補助光が必要です（フラッシュ撮影についてはP-20参照）

明るいところで ☁ にセットしている時EE警告マークに止まるときは ☼ に合わせます。それでも夏の海岸・明るい雪景色などの非常に明るい時はこの警告マーク位置で指針が止まることがあります。この場合は露出オーバーを指示します。このEE警告マークは露出オーバー、アウダーの表示が兼用されています。

#### (4) カメラの構え方

写真のじょうず、へたはカメラの構え方にも原因します。不安定な構え方で構えますとカメラが動き、せっかくの写真がブレて台無しになってしまいます

カメラの構え方を練習して、正しい構え方の習慣をつけてください

#### 横位置に構えるとき

横位置は、両手でカメラを保持できるいちばん安定した方法です。両肘を身体につけ、静かにシャッターボタンを押します  
ファインダーを右の目でのぞく方が連続撮影のとき、巻上げレバーが顔に当らず便利です

#### 縦位置に構えるとき

縦位置での撮影は、シャッターボタンを親指で押すときと人差指で押すときの二方法があります。あなたの扱いやすい方法をお選びください



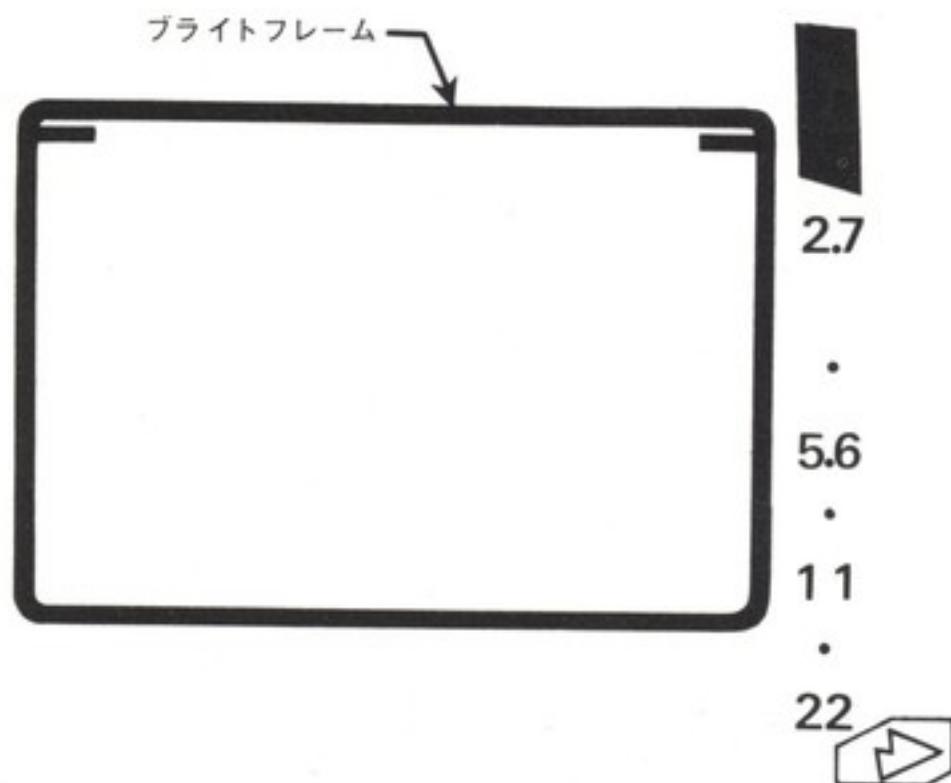
### (5) ファインダーの見方

ファインダーをのぞくと周囲に光像枠（ブライトフレーム）が見えます。（写真の黒い枠）  
この光像枠に囲まれた範囲が実際に写る範囲です。またファインダー右下方の小窓よりゾーンフォーカスマークも見えます

### パララックス補正について

近距離のものを写す場合写る範囲が多少右下の方にずれてきます

1 m内外のものを写すとき、光像枠上側の補正マークより下の範囲になりますので、このマーク内に合わせて構図を決めて下さい

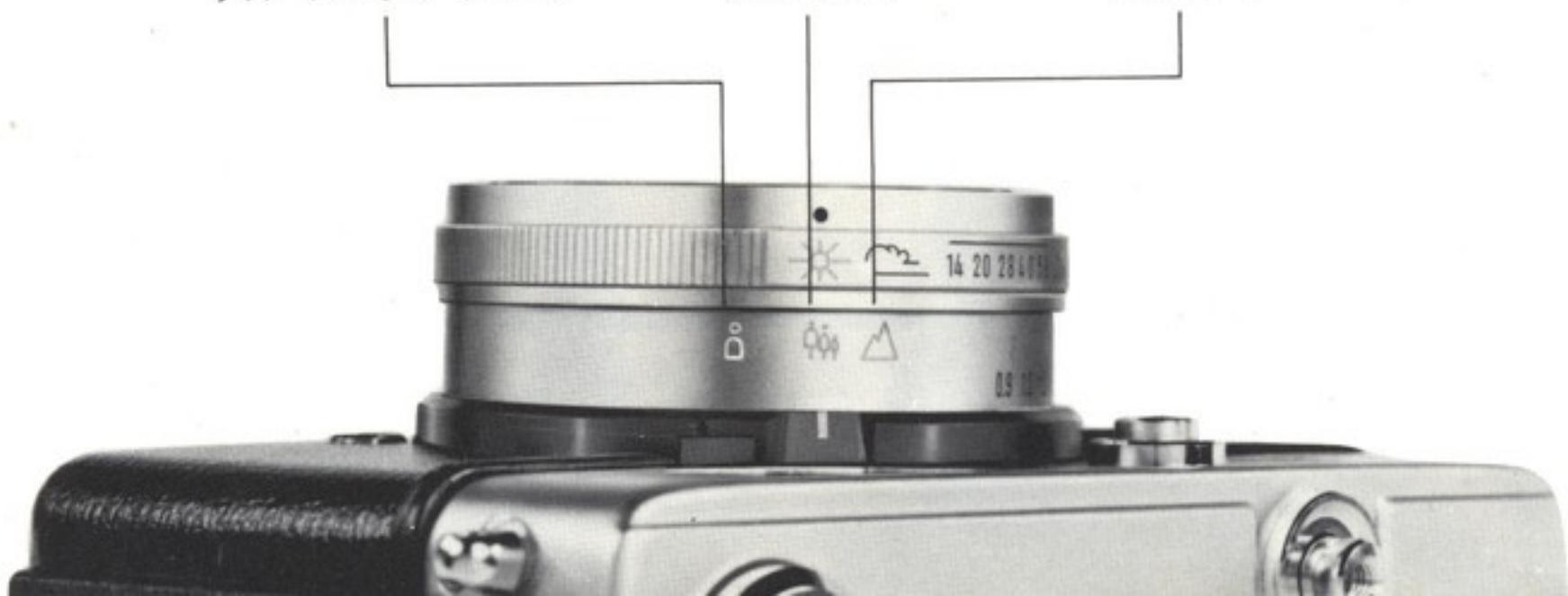


## (6)ピントの合わせ方

カメラを上面から見ると3つの絵が見えます  
この絵をゾーンフォーカスマークといいます  
このカメラのレンズは焦点距離が短かくピントの合う範囲が深いのでピント合わせは目測で十分です。被写体によって焦点調節レバーでマークを指標に合わせます。マークは上面

から見て右より遠景・集合・クローズアップを示します。

また右側に距離目盛があり目測によりこの目盛でピントを合わせることもできます





# フラッシュ撮影

夜間や光量不足の場所で撮影するときには、閃光球か、スピードライト（ストロボ）を用いてフラッシュ撮影します

このカメラはフラッシュマチックになっていますので操作が簡単です



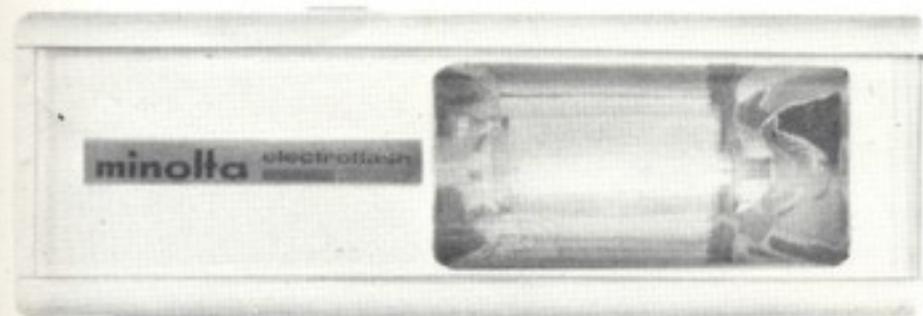
デュオフィットガン

**1** フラッシュガンを取付けます。ミノルタデュオフィットガン使用のときは、ガンの取付け足をノンコードガンクリップに取付けます。（シンクロコードの操作は  
いりません）

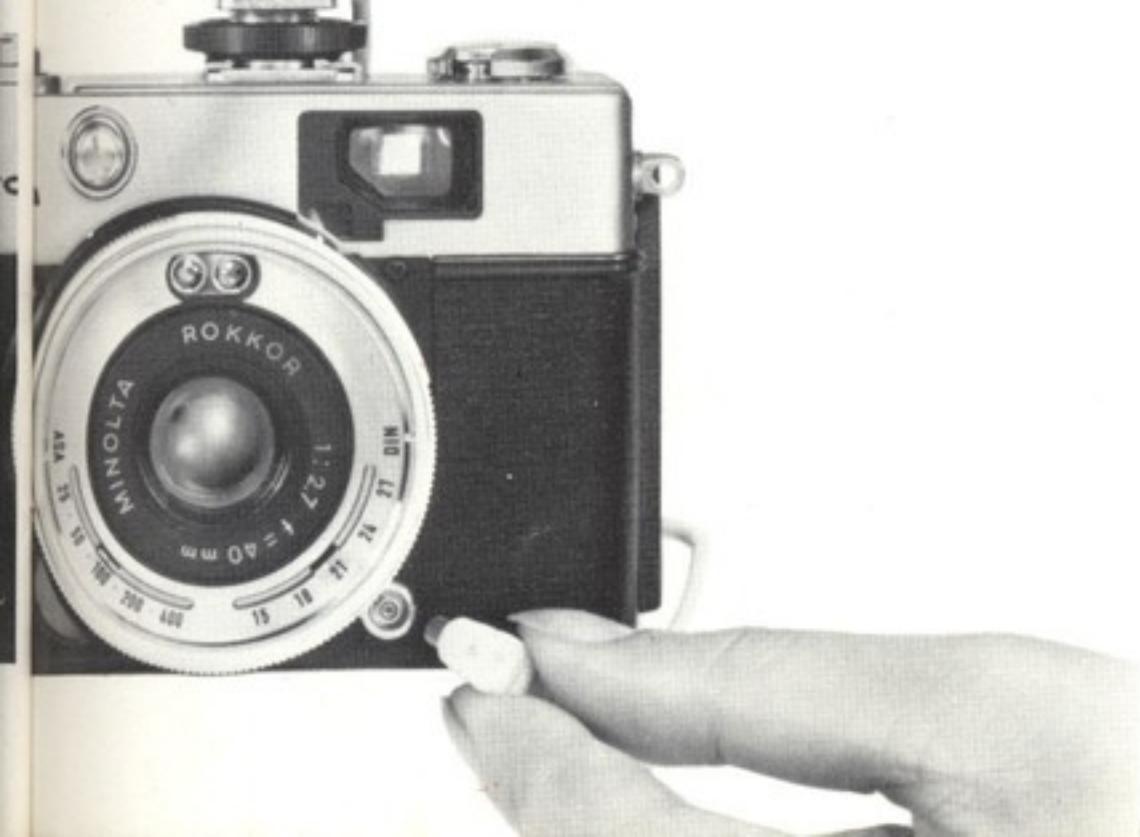
その他のフラッシュガン使用のときはガンの取付けシューをクリップに取りつけ



シンクロコードの先端をカメラのシンク  
ロターミナルにさしこみます



エレクトロフラッシュ



**2** 撮影距離によってF M連動範囲表(下図)  
から撮影距離に適したガイドナンバーの  
閃光球を選びます

例えば1.3~10mの範囲で撮影したいとき  
は、上のF M連動範囲表よりガイドナン  
バー28の閃光球を用いてください

(F M連動範囲表は裏蓋に貼っています)

EASY FLASH WORKING RANGE

GNm		GNft	
14	0.9 - 5	45	3 - 17
20	0.9 - 7.4	65	3 - 24
28	1.3 - 10	90	4 - 33
40	1.8 - 10	130	6 - 33
56	2.5 - 10	180	8 - 33

MINOLTA CAMERA CO., LTD. JAPAN



- 3** 使用する閃光球でガイドナンバー(GN)が決まれば、シャッターリング上のGN目盛を速度・GN指標に合わせます(これでFM機構が作動可能です)



- 4** ピントを合わせ、構図を決め、シャッターボタンを押します

- ピントを合わすとFM機構の働きによって自動的に適正絞りになります
- フラッシュ撮影のときのシャッター速度は $\frac{1}{30}$ です
- FM(フラッシュマチック)機構ではスピードライト(ストロボ)・M球・MF球が使用できます

## ガイドナンバーのきめ方

- ミノルタデュオフィットガンをお使いになるときは、発光器の裏のガイドナンバー表をご覧ください
- その他の発光器をお使いになるときは、その発光器の説明書または、ガイドナンバー表をよくお読みになったうえでガイドナンバーを決めてください
- 閃光球の箱に書いてあるガイドナンバーはよく磨かれた最高の条件の反射傘を使った場合の数値で、一般の反射傘の場合、そのままガイドナンバーをうのみにして使用すると露出不足になることもありますからご注意ください

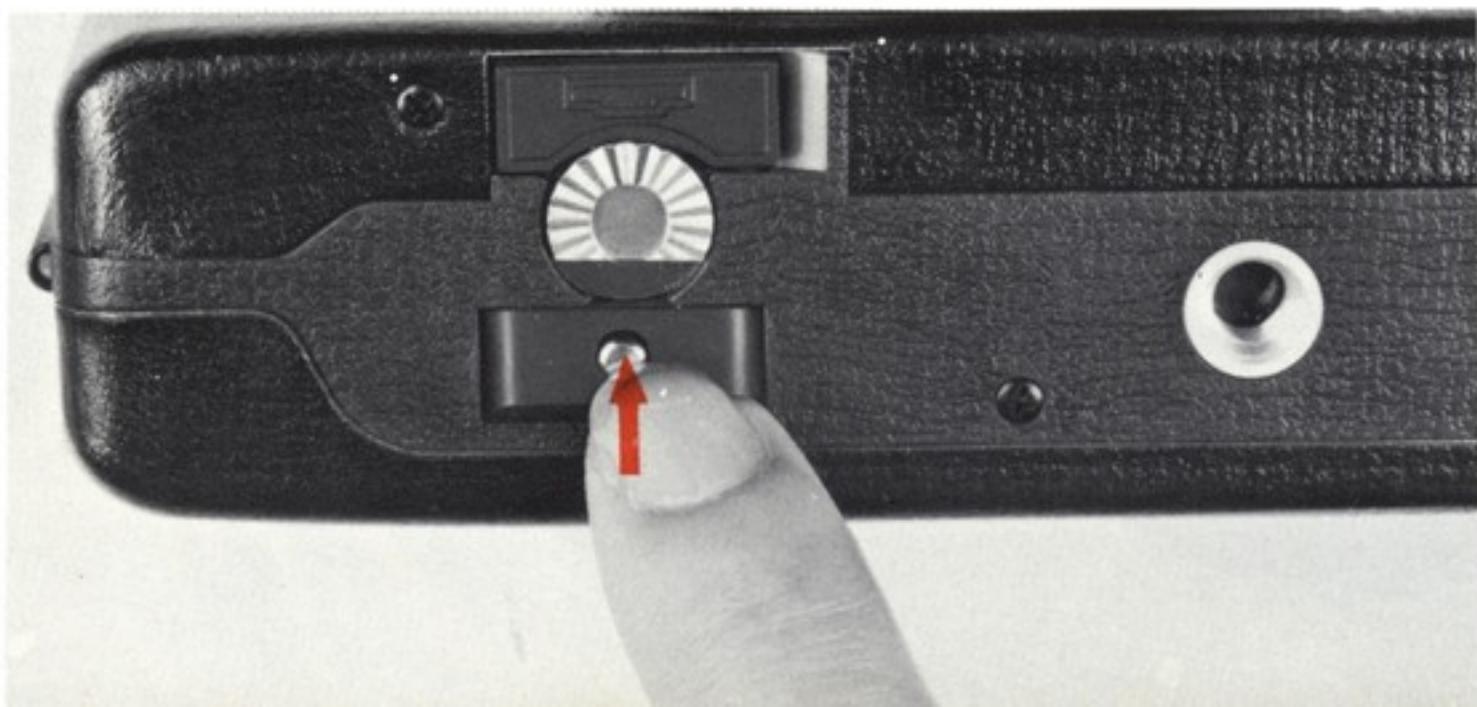
### 注意

ガイドナンバーはクリックストップ式ですが中間値も使用できます

## フィルムの取出し

撮影が終わると（フィルムカウンターに20あるいは36がでる）フィルムを取出す前にもとのパトローネに巻き戻さねばなりません

**1** カメラの底部にある巻戻しボタンを押し込みます（このボタンは指を離しても押込まれた状態にとまります。もし指を離したとき、ボタンがもとどおりでてくる場合は、指で押したまま少し巻きもどしボタンから手を離してフィルムを十分巻上げ、もう一度巻戻しボタンを押すと、押込まれた状態のままになります）



巻戻しクランクを起こして、矢印の方向にまわすと、フィルムはもとのパトローネのなかへ巻戻されていきます  
フィルムが巻取軸の溝から離れると、巻戻しが急に軽くなるので手ごたえでわかります

**3** 巻戻しが終わったら、(クランクをまわしているとき抵抗感がなくなる) 裏蓋を開いて、パトローネをとり出します



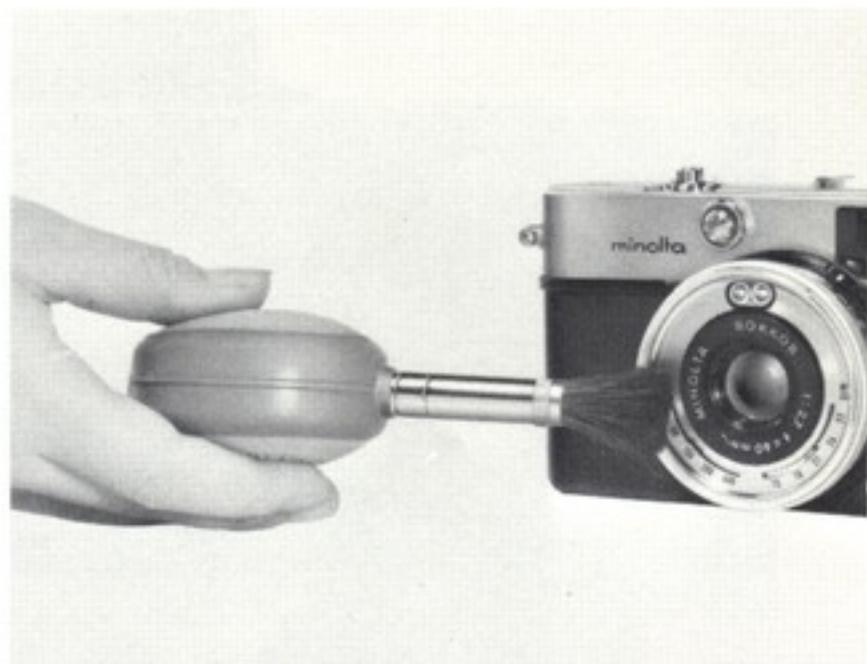
# カメラの保存と手入れ

## 使ったあとは…

- レンズに手を触れないようご注意ください  
もし誤って汚した場合、ブローアーでゴミを除き清けつな木綿の布で、軽く拭きとってください  
これでも汚れがとれないときは、レンズクリーニングペーパーに市販の液体クリーナー（コダック、フジフィルム製など）をつけて、レンズの中心からうづまき状に軽くふきます。このとき使用液を一滴ほど浸みこませてふいてください。きれいに取り除けます
- 金属カバーが余り汚れたときは、布に少しベンジンをつけて拭くときれいになります

## 使わないときは……

- 1カ月以上、お使いにならないときは水銀電池を取り出しておきましょう
- カメラを長持ちさせるには、高温、湿気や多量の塩分を含む薬品のある場所はさけてください
- カメラを乾燥剤（シリカゲルなど）といっしょに缶のなかにしまっておくと安全です



## アクセサリーのご紹介

商品名または価格のところの ( ) に数字で表わしているのは商品の種別を示すコードNo.です。ご注文のときはコードNo.と一緒にご指名願います



### フィルター

1 A (7249-116)

紫外線を吸収するので海辺、高山などの撮影にご利用ください。また、露出倍数がかからないので、レンズの保護として役立ちます

Y-48 (7149-200)

白黒フィルムで撮影するとき海辺や雲のある風景などの撮影で、青味をおさえますから白雲を強調したいときには効果的です(露出倍数は2ですが、このカメラに使用すると自動的に補正されます)

1A・Y-48 各 ¥850



1 A



Y-48

フード (6196-410)

逆光やフラッシュ撮影のとき  
レンズの写角外から入る有害  
な光線をカットして、鮮明な  
写真をつくります

¥600(ケース付)



ミノルタ

エレクトロフラッシュ

(8627-007)

洗練されたデザインで、コン  
パクトにまとめられた高性能  
フラッシュです。特に本機は  
ガイドナンバーを正確に表示  
するため、Hi. Lo 2つのパイ  
ロットランプによる表示式を  
採用しています。また、縦横  
二方向に取付けられ、単3乾  
電池とAC電源いずれも使用  
できます

本体(ACコード付) ¥7,900

ケース ¥ 300



ミノルタ

フラッシュガンデラックスⅢ

(8626-007)

夜間や暗いところでの撮影に  
デラックスガンをお使いくだ  
さい。美しい写真が写せます  
デラックスガンは、照射角度  
が自由に調節でき3種の閃光  
球が使用できます ¥ 1,900



ミノルタ  
デュオフィット S  
(8625-007)

小型で性能がよく、ユニークなデザインです。フラッシュ撮影には、このガンをおすすめします。ハイマチックCに取付けるとコードが要りません。もちろん他のカメラにもお使いいただけます

¥ 1,000



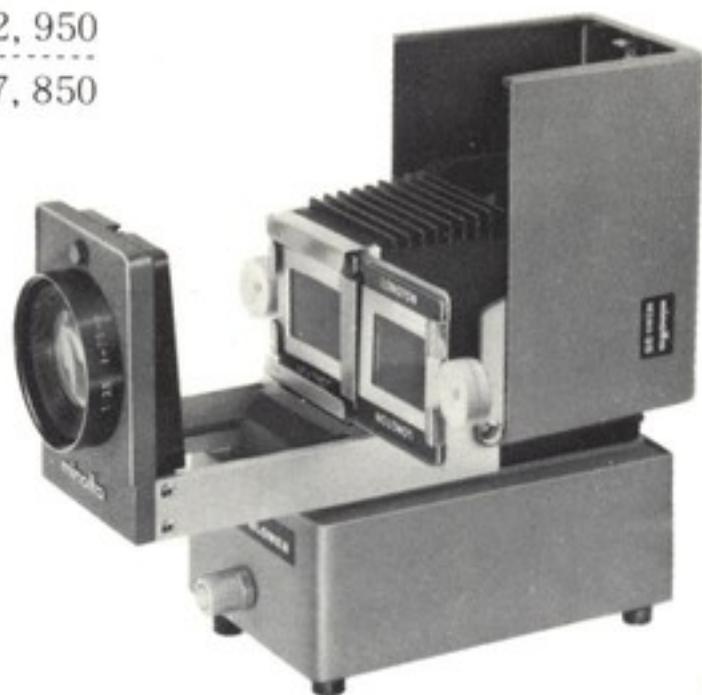
ミノルタ  
ミニ35Ⅱプロジェクター  
ブローアークット

カラーで撮影したスライドを一家揃って楽しく映写してください。テレ・ワイドのコンバージョンレンズを用意しておりますから、広い部屋でも狭い部屋でも自由に映写できます

本体(358-100) ¥ 4,900

ブローア(8516-100) ¥ 2,950

-----  
キット(358-138) ¥ 7,850



# Minolta

ミノルタカメラ株式会社

☎542 大阪市南区塩町通 4 - 18 (06) 271-8671

☎105 東京都港区芝浜松町3-5 (03) 435-5511

(世界貿易センタービル)